



平成 17 年 10 月 14 日

各位

会社名 株式会社リクルートコスモス
代表者名 代表取締役社長 町田 公志
(JASDAQ コード 8844)
問合せ先 グループ戦略室長 高野 慎一
(TEL. 03-5440-4010)

平成 18 年 3 月期 中間 (連結・個別) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 7 月 25 日に公表いたしました平成 18 年 3 月期中間期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期中間期の業績予想の修正

(1) 平成 18 年 3 月期中間 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日) の個別業績予想
(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	90,000	5,000	81,300
今回修正予想 (B)	90,600	7,000	79,300
増減額 (B-A)	600	2,000	2,000
増減率	0.7%	40.0%	-
前期 (平成 17 年 3 月期中間) 実績	63,088	3,128	3,255

(2) 平成 18 年 3 月期中間 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日) の連結業績予想
(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	113,000	6,000	80,500
今回修正予想 (B)	115,000	8,100	78,400
増減額 (B-A)	2,000	2,100	2,100
増減率	1.8%	35.0%	-
前期 (平成 17 年 3 月期中間) 実績	85,800	4,143	3,670

2. 修正の理由

(1) 個別業績予想の修正理由

当中間期は、新築マンションの販売が順調に推移したことに加え、販売費及び一般管理費の効率的な費消に努めたこと、また営業外収支 (金融コスト) の改善効果が実現したことなどにより、売上高、経常利益ともに当初予想を上回り、中間純損失は 20 億円改善する見込みであります。

(2) 連結業績予想の修正理由

個別業績の影響によるものに加え、連結子会社における工事事業等が増収となったことなどから売上高、経常利益ともに当初予想を上回り、中間純損失は 21 億円改善する見込みであります。

本資料記載の業績予想に関しましては、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。今後、様々な要因によって、実際の業績が大きく異なる可能性があります。

3 . 平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の業績予想

平成 18 年 3 月期通期（連結・個別）の業績予想については現在策定中ではありますが、順調な販売状況などを背景とした中間期の業績修正を踏まえ、今後の市場動向等も勘案の上、中間決算発表時（平成 17 年 11 月 18 日予定）にあらためてお知らせいたします。

以上